

## 1 プログラムの名称

久留米大学病院病理診断科専門研修プログラム

## 2 研修期間

3年

## 3 募集要項

募集人員： 3名

募集期間： 1次募集：日本専門医機構のスケジュールに準ずる。  
\*1次募集で募集で空席があれば2次募集を行います。(予定)

応募資格： 医師免許を有している者  
臨床研修を修了している者、または修了見込みの者

応募方法： \*担当者へお問合わせください。  
プログラム応募申請書(1部)  
履歴書(2部)  
臨床研修修了書もしくは修了見込み証明書(1部)  
医師免許証写し(1部)

選考方法： 書類審査・面接等

選考日： 募集期間確定後、応相談

処遇： 大学規定に準ずる。

## 4 プログラム統括責任者・指導医数

研修責任者：秋葉 純 (診療部長・教授)

病理専門医：14名

細胞診専門医：8名

病理指導医：5名

## 5 主な連携施設

**連携施設1群：常勤病理指導医がおり、診断の指導が行える施設**

(久留米大学医療センター、社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院、福岡県済生会福岡総合病院、公立八女総合病院、地方独立行政法人大牟田市立病院、独立行政法人国立病院機構九州医療センター、福岡徳州会病院、熊本赤十字病院、がん研究会有明病院、国立病院機構熊本医療センター、社会医療法人天神会新古賀病院、熊本市立熊本市市民病院、国家公務員共済組合連合会熊本中央病院、独立行政法人地域医療機能推進機構熊本総合病院、医療法人社団高邦会高木病院、国立病院機構小倉医療センター、社会保険田川病院 計17施設、順不同)

**連携施設2群：病理指導医が常勤していない施設**

(福岡県済生会二日市病院、宗像水光会総合病院、地方独立行政法人筑後市立病院、大分県済生会日田病院、医療法人親仁会米の山病院、JCHO久留米総合病院、朝倉医師会病院、くまもと森都総合病院 計8施設、順不同)

## 6 プログラムの特色

本プログラムでは、病理学の総論的知識と各種疾患に対する病理学的理解のもと、診断及び治療に深く関わる病理について、その基本的な考え方、知識および技術を修得し、病理診断能力を涵養する事を目的としています。また、病理専門医数は全国屈指であり、病理専門医を目指す先生、病理を学びたい先生など、それぞれの先生方の目標にあわせた3年間の研修プログラムを提供いたします。

初期研修終了後の年次スケジュール

卒後3年目以降 死体解剖資格認定取得

卒後6年目以降 病理専門医取得

卒後6年目以降 細胞診専門医取得

## 7 プログラム統括責任者から一言

医療における病理医の役割はますます重要になっていますが、慢性的に病理医数が充足されていない状態です。このような状況を改善するためにも魅力的で、しかも各研修医のニーズにあったプログラムを心がけております。本プログラムでは、久留米大学を主体とし、関連施設をローテートして病理専門医資格の取得を目指します。各施設をまとめると症例数は豊富かつ多彩で、剖検数も十分確保されています。優しく教育熱心な指導医も各施設に揃っています。カンファランスの場も多くあり、病理医として成長していくための環境は整っています。社会人・医師としての素養を身に付け、さらに知識のみならず技能や態度にも優れたバランスよい病理専門医の育成を目指しています。

## 8 連絡先・担当者

〒830-0011福岡県久留米市旭町67

久留米大学病院 病理診断科・病理部

教授 秋葉 純

電話：0942-31-7651

## 9 研修プログラムのURL

日本病理学会 <http://pathology.or.jp>

